



SPRING HILL NEWS LETTER

私は
しんなりな
ノリ派!



魚介類の読み方について

暑い季節になると（もう過ぎましたが・・・）、キンキンに冷えたビールが恋しくなります。魚介類を文字通り、酒の肴にして晩酌を楽しんでいる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。ところで、6月～8月が旬の魚が、何かご存知ですか。鰯（あじ）、穴子（あなご）、鰻（うなぎ）、鱧（はも）、イサキ、カジキマグロ等々、いろいろあります。私だけかもしれませんが、魚介類の名前が漢字で書いてあると、時々読み方がわからなくて困る時があります。鮪（まぐろ）、鰹（かつお）、鮭（さけ）、鰻（うなぎ）、鯛（たい）等はさすがにわかりますが、烏賊（いか）や鰯（いわし）、鱒（ます）等、どう読むかを、人に聞いたり、パソコンで調べたこともあります。スプリングヒルは、翻訳の会社ですので、魚介類の英語も翻訳しなければいけません。鰯（horse mackerel）、穴子（conger eel）、鱧（daggertooth pike conger）、鮪（tuna）、鰹（bonito）、鮭（salmon）、鱒（trout）、鰻（eel）、鰯（sardine）、鯛（sea bream）、伊勢海老（lobster）、烏賊（squid）、蛸（octopus）等々。馴染みがあるのは、やはり鮪（tuna）ですよね。名古屋市内のおにぎり屋さんに行くと、「ツナマヨ」とあります。鮭は、「しゃけ」「さけ」ですが、鮪だけは「ツナ」というのが主流です。なぜでしょうか。

ツナマヨのおにぎりは、しんなりのノリのかパリパリのノリか、どちら派ですか？



編集長「かじた」のつぶやき・・・

先月からのセブンイレブンでの出来事の続きです。明らかに小さい袋を用意したB君。もう入らない状況でやっと出てきた言葉が「お客様すみません、袋が小さかったのですぐに入れなおします・・・。」・・・いや～、明らかにわかってたけどね・・・しかし私は「あっ大丈夫です。」と対応。そして、そんなB君の対応はなんと、B君：別の袋を出す。しかし、次も明らかに小さい！！ →私：ワクワク・・・（これは、入るか？入らないか？の大きさだ。普通には入らんぞ！） →B君：氷を2袋入れる。炭酸水に手をかける。B君の手が止まる！！（私：気づいたか？）B君、氷を横にして2袋を入れなおす。（私：押し通す気や！）そしてその上に炭酸水を2本横にして入れる。（私：もう袋はパンパンよ！）B君、最後の炭酸水に手をかける。（私：どうするB君?!）B君強引に2本の上に乗せる。（私：ギリギリ入った～・・・しかしまだクッキーがあるどうするB君!!） →私：B君の表情を伺う（B君、困った顔をしている・・・そりゃそうだ）私：「大きい袋に変えてはいかがが??」との言葉を私は飲み込み、B君の次の行動に期待！さあどうするB君!!! →B君：クッキーに手をかける。隙間に強引に入れるも、もう溢れて入らない。次のクッキーにも手をかける。（もう無理でしょ）もう状況的に袋に入っていない。溢れて何とか袋に乗っている状況。 →B君：「お客様、大変お待たせいたしました。」 →私：（B君、強引にいきやがったあ）あっ、ありがとうございます。（やばい、これどこ持てばいいんだ??）何かもう親指と人差し指の2本の指で袋をつまんで持つ感じで、そのままクッキーが落ちないか気を付けながら車へ・・・。まあこんなやり取りですね・・・。そして、奥さんに「ハイ」と渡すと。奥さん：「なにこれ袋に入っていないじゃん」私：「B君頑張ったから」 →奥さん：「えっ？ どういう事??」 →私：「B君、こうでこうで頑張った結果これだったの」 →奥さん：「わっはっは」「でも入っていないからこれじゃあ持てないじゃん。私袋もらってきていい？」私：「B君「氷と他の物一緒に入れても大丈夫ですか？」って言ってて、それで頑張って1つの袋に入れたんで、まあこれでいいじゃん。面白かったし」 →奥さん：「わっはっは。じゃあ落とさないで持ってよ」。そして、私はB君の努力を無駄にしないために、落とさずに頑張って持って行きました。まあ、これを「怒る」か「笑う」かで、人生きっと変わりますよ・・・気分にもよりますが。つか、仕事でやられたらカナリイラつきますけどね。まあ、こんな感じですね。おわり・・・。